

GISMAP[®]
ジスマップ

町丁目・大字界

Ver. 1.00

標準仕様書

2007. 4. 1



北海道地図株式会社

GISMAP 町丁目・大字界 標準仕様書

GISMAP 町丁目・大字界 標準仕様書

1.	概要	3
1.1	GISMAP 町丁目・大字界について	3
2.	データ仕様	3
2.1	地物カタログ	3
2.1.1	行政コード(2桁)	4
2.1.2	行政コード(5桁)	4
2.1.3	都道府県名	4
2.1.4	市区町村名	4
2.1.5	町・大字名	4
2.1.6	丁目名	4
2.1.7	都道府県名(読み)	4
2.1.8	市区町村名(読み)	4
2.1.9	町・大字名(読み)	4
2.1.10	丁目名(読み)	4
2.1.11	行政界種別コード	5
2.1.12	境界種別コード	5
3.	特記事項	5
4.	提供形態	6
4.1	フォーマット	6
4.2	格納方法	6
4.2.1	北海道地図(株)交換フォーマット	6
4.2.2	ESRI Shapefile	7
4.2.3	MapInfo 交換フォーマット	8
5.	更新履歴	11

1. 概要

1.1 GISMAP 町丁目・大字界について

本仕様書では北海道地図株式会社で作成する GISMAP 町丁目・大字界の標準仕様について記載する。

GISMAP 町丁目・大字界は、「都道府県」、「市区町村」、「町・大字」、「丁目」の各レベルの行政界領域と領域内の代表点、及び行政界線の地理情報データである。本データはベクトル形式で提供する。

2. データ仕様

2.1 地物カタログ

表 2-1 GISMAP 町丁目・大字界 地物カタログ 参照

- ・ 地物を大分類・中分類・小分類に分類し、各小分類（レイヤ）毎に 3 桁のレイヤコードを与える。
- ・ 地物の図形種別はポイント（点）・ライン（線）・エリア（面）のいずれかであり、レイヤに応じて決められる。
- ・ 属性はレイヤに応じた属性値として保持する。

表 2-1 GISMAP 町丁目・大字界 地物カタログ

大分類	中分類	小分類	レイヤコード	図形種別	属性 1	属性 2	属性 3	属性 4	属性 5	属性 6	属性 7	属性 8	属性 9
行政	区域	都道府県域	511	エリア	行政コード (2 桁)	都道府 県名	都道府県名 (読み)	市区町村名	市区町村名 (読み)	町・大字名	町・大字名 (読み)	丁目名	丁目名 (読み)
		市区町村域	521		行政コード (5 桁)								
		町・大字域	531										
		丁目域	541										
	代表点	都道府県 代表点	513	ポイント	行政コード (2 桁)	都道府 県名	都道府県名 (読み)	市区町村名	市区町村名 (読み)	町・大字名	町・大字名 (読み)	丁目名	丁目名 (読み)
		市区町村 代表点	523		行政コード (5 桁)								
		町・大字 代表点	533										
		丁目代表点	543										
	境界	行政界線	502	ライン	行政界 種別コード	境界 種別 コード							

2.1.1 行政コード (2桁)

総務省制定の全国地方公共団体コード6桁のうち、上位2桁を格納する。

2.1.2 行政コード (5桁)

総務省制定の全国地方公共団体コード6桁のうち、上位5桁を格納する。

2.1.3 都道府県名

都道府県名を全角漢字で格納する。

2.1.4 市区町村名

市区町村名を全角漢字で格納する。

2.1.5 町・大字名

町・大字名を全角漢字で格納する。

2.1.6 丁目名

丁目名を全角漢字で格納する。

2.1.7 都道府県名 (読み)

都道府県名の読みを全角カタカナで格納する。拗音・促音は大書きとする。

例： トウキヨウト

2.1.8 市区町村名 (読み)

市区町村名の読みを全角カタカナで格納する。拗音・促音は大書きとする。

例： シンジユクク

2.1.9 町・大字名 (読み)

町・大字名の読みを全角カタカナ、全角数字で格納する。拗音・促音は大書きとする。

例： ヒラカワチヨウ

2.1.10 丁目名 (読み)

丁目名の読みを全角カタカナ、全角数字で格納する。拗音・促音は大書きとする。

例： 2チヨウメ

2.1.11 行政界種別コード

表 2-2 行政界種別コード

コード	内容	備考
1	海岸線	
2	都道府県界	
3	北海道の支庁界	
4	郡界	
5	市区町村界	
6	町・大字界	
7	丁目界	

2.1.12 境界種別コード

表 2-3 境界種別コード

コード	内容	備考
0	通常の境界線	
1	境界未定の界線	何らかの理由で境界が未定になっている地域を区切る界線

3. 特記事項

- ・ 池・湖沼・河川等の陸水部はいずれかの区域に含まれる。
- ・ 海岸部は海岸線を区域の境界とする。海水面はいずれの区域にも含まれないものとする。
- ・ 陸水と海水の境界（河川の河口部等）については、当社の基準による。
- ・ 大字名・町名の無い直接番地の区域及び国有地等の地名不定区域は、レイヤコード 531、533（町・大字）に町・大字名以下の属性が無いものとして収録される。
- ・ 行政界線について、上位の行政界種別コード（コードの小さいものが上位）を採用し、重複しない。
- ・ 代表点の取得位置については、該当区域内部であることを保証する。
- ・ 飛び地が有る場合は、複数の区域・代表点を有する。
- ・ 京都市においては、領域を公称地名で取得する（町・大字域）。

4. 提供形態

4.1 フォーマット

提供するフォーマットは以下の通りである。

- ・ 北海道地図 (株) 交換フォーマット
- ・ ESRI Shapefile
- ・ MapInfo 交換フォーマット

詳細は各社フォーマット資料を参照

4.2 格納方法

4.2.1 北海道地図 (株) 交換フォーマット

GISMAP 町丁目・大字界を北海道地図 (株) 交換フォーマットで提供する際には、以下のようにデータを格納する。

- ・ 地物カタログのレイヤコード 3 桁を、HTF のレイヤに格納する。
- ・ 地物カタログの図形種別と HTF のオブジェクトデータとの対応を表 4-1 に示す。

表 4-1 図形種別とオブジェクトデータとの対応

図形種別	オブジェクトデータ
ポイント	POINT
ライン	LINE
エリア	AREA

- ・ 地物カタログの属性値を、オブジェクトの属性 1 以降に格納する。

4.2.2 ESRI Shapefile

GISMAP 町丁目・大字界を ESRI Shapefile 形式で提供する際には、以下のようにデータを格納する。

- ・ シェープタイプ毎にファイルを作成する。
- ・ 加えて Polygon 及び Point は「都道府県」「市区町村」「町・大字」「丁目」毎にファイルを作成する。
- ・ 地物カタログの図形種別と Shapefile 形式データのシェープタイプとの対応を表 4-2 に示す。

表 4-2 図形種別とシェープタイプとの対応

図形形式	シェープタイプ
ポイント	Point
ライン	PolyLine
エリア	Polygon

- ・ 地物カタログのレイヤコード 3 桁を、DBF ファイルのフィールド 1 に格納する。
- ・ 地物カタログの属性値を、DBF ファイルのフィールド 2 以降に格納する。対応する属性が無い場合、属性値に 0 または空白を格納する。

表 4-3 Shapefile 形式データの属性

Polygon

No.	フィールド名	型	データ長	対応地物カタログ
1	LAYER	整数	3	レイヤコード
2	GCODE	文字列	5	行政コード (2 桁) または行政コード (5 桁)
3	ADDR1	文字列	8	都道府県名
4	ADDR2	文字列	24	市区町村名
5	ADDR3	文字列	36	町・大字名
6	ADDR4	文字列	28	丁目名
7	ADDR1_YOMI	文字列	12	都道府県名 (読み)
8	ADDR2_YOMI	文字列	48	市区町村名 (読み)
9	ADDR3_YOMI	文字列	72	町・大字名 (読み)
10	ADDR4_YOMI	文字列	56	丁目名 (読み)

Point

No.	フィールド名	型	データ長	対応地物カタログ
1	LAYER	整数	3	レイヤコード
2	GCODE	文字列	5	行政コード(2桁)または行政コード(5桁)
3	ADDR1	文字列	8	都道府県名
4	ADDR2	文字列	24	市区町村名
5	ADDR3	文字列	36	町・大字名
6	ADDR4	文字列	28	丁目名
7	ADDR1_YOMI	文字列	12	都道府県名(読み)
8	ADDR2_YOMI	文字列	48	市区町村名(読み)
9	ADDR3_YOMI	文字列	72	町・大字名(読み)
10	ADDR4_YOMI	文字列	56	丁目名(読み)

PolyLine

No.	フィールド名	型	データ長	対応地物カタログ
1	LAYER	整数	3	レイヤコード
2	GKIND	整数	2	行政界種別コード
3	FLAG	整数	2	境界種別コード

4.2.3 MapInfo 交換フォーマット

GISMAP 町丁目・大字界を MapInfo 交換フォーマットで提供する際には、以下のよう
にデータを格納する。

- ・ 図形オブジェクト毎に MIF/MID ファイルを作成する
- ・ 加えて Region 及び Point は「都道府県」「市区町村」「町・大字」「丁目」毎にファイルを作成する。
- ・ 地物カタログの図形種別と MIF ファイルの図形オブジェクトとの対応を表 4-4 に示す。

表 4-4 図形種別と図形オブジェクトとの対応

図形種別	図形オブジェクト
ポイント	Point
ライン	Pline
エリア	Region

- ・ 地物カタログのレイヤコード 3 桁を、MID ファイルのフィールド 1 に格納する。
- ・ 地物カタログの属性 1 以降を、MID ファイルのフィールド 2 以降に格納する。

表 4-5 MapInfo 交換フォーマット形式データの属性

Pline

No.	フィールド名	型	データ長	対応地物カタログ
1	LAYER	整数	(2byte)	レイヤコード
2	GKIND	整数	(2byte)	行政界種別コード
3	FLAG	整数	(2byte)	境界種別コード

Region 及び Point : 地物カタログのレイヤ 511 (都道府県域) 及び 513 (都道府県代表点)

No.	フィールド名	型	データ長	対応地物カタログ
1	LAYER	整数	(2byte)	レイヤコード
2	GCODE	文字列	2	行政コード (2桁)
3	ADDR1	文字列	8	都道府県名
4	ADDR1_YOMI	文字列	12	都道府県名 (読み)

Region 及び Point : 地物カタログのレイヤ 521 (市区町村域) 及び 523 (市区町村代表点)

No.	フィールド名	型	データ長	対応地物カタログ
1	LAYER	整数	(2byte)	レイヤコード
2	GCODE	文字列	5	行政コード (5桁)
3	ADDR1	文字列	8	都道府県名
4	ADDR2	文字列	24	市区町村名
5	ADDR1_YOMI	文字列	12	都道府県名 (読み)
6	ADDR2_YOMI	文字列	48	市区町村名 (読み)

Region 及び Point : 地物カタログのレイヤ 531 (町・大字域) 及び 533 (町・大字代表点)

No.	フィールド名	型	データ長	対応地物カタログ
1	LAYER	整数	(2byte)	レイヤコード
2	GCODE	文字列	5	行政コード (5桁)
3	ADDR1	文字列	8	都道府県名
4	ADDR2	文字列	24	市区町村名
5	ADDR3	文字列	36	町・大字名
6	ADDR1_YOMI	文字列	12	都道府県名 (読み)
7	ADDR2_YOMI	文字列	48	市区町村名 (読み)
8	ADDR3_YOMI	文字列	72	町・大字名 (読み)

Region 及び Point : 地物カタログのレイヤ 541 (丁目域) 及び 543 (丁目代表点)

No.	フィールド名	型	データ長	対応地物カタログ
1	LAYER	整数	(2byte)	レイヤコード
2	GCODE	文字列	5	行政コード(5桁)
3	ADDR1	文字列	8	都道府県名
4	ADDR2	文字列	24	市区町村名
5	ADDR3	文字列	36	町・大字名
6	ADDR4	文字列	28	丁目名
7	ADDR1_YOMI	文字列	12	都道府県名(読み)
8	ADDR2_YOMI	文字列	48	市区町村名(読み)
9	ADDR3_YOMI	文字列	72	町・大字名(読み)
10	ADDR4_YOMI	文字列	56	丁目名(読み)

5. 更新履歴

2007.04.01 Version 1.00 -